

特定外来生物

緊急対策外来種

重点対策外来種

水際を覆う外来植物!

オオカワヂシャ

Veronica anagallis-aquatica

明治初期にユーラシア大陸から持ち込まれました。種子繁殖が旺盛で、水流や泥の移動に伴い分布を拡大させています。



オランダガラシ

Nasturtium officinale

食用のクレソンとして明治初期にヨーロッパから持ち込まれました。外来種として世界各地に分散しています。種子繁殖が極めて旺盛です。



オオフサモ

Myriophyllum aquaticum

観賞用として昭和初期に南アメリカから持ち込まれました。三浦半島各地の溜池等で繁茂しています。地下茎の断片の逸出等で増えます。



ウチワゼニクサ

Hydrocotyle verticillata

観賞用として北アメリカから持ち込まれました。平作川、関根川、川間川、西逸見川で確認されています。地下茎の断片の逸出等で増えます。ウォーターマッシュルームの名で販売されています。



アマゾンチカガミ

Limnobiium laevigatum

観賞用として南アメリカから持ち込まれました。三浦半島では観音崎など限られた場所で確認されています。浮遊しながら分裂して増殖します。アマゾンフロッグピットの名で販売されています。



ホテイアオイ

Eichhornia crassipes

観賞用として明治中期に南アメリカから持ち込まれました。三浦半島では深井堰や轡堰などの溜池等で確認されています。夏場は浮遊しながら株別れして増え、冬場は種で越冬します。



ミズヒナゲシ

Hydrocleys nymphoides

観賞用として南アメリカから持ち込まれました。三浦半島では観音崎など限られた場所で確認されています。ウォーターポピーの名で販売されています。



ヌマツルギク

Acmella oppositifolia

観賞用として昭和後期に北アメリカから持ち込まれました。三浦半島では観音崎など限られた場所で確認されています。地下茎の断片の逸出等で増えています。



一度侵入すると、すぐに水際のほぼ全面を覆ってしまいます



オオカワヂシャ



オオフサモ

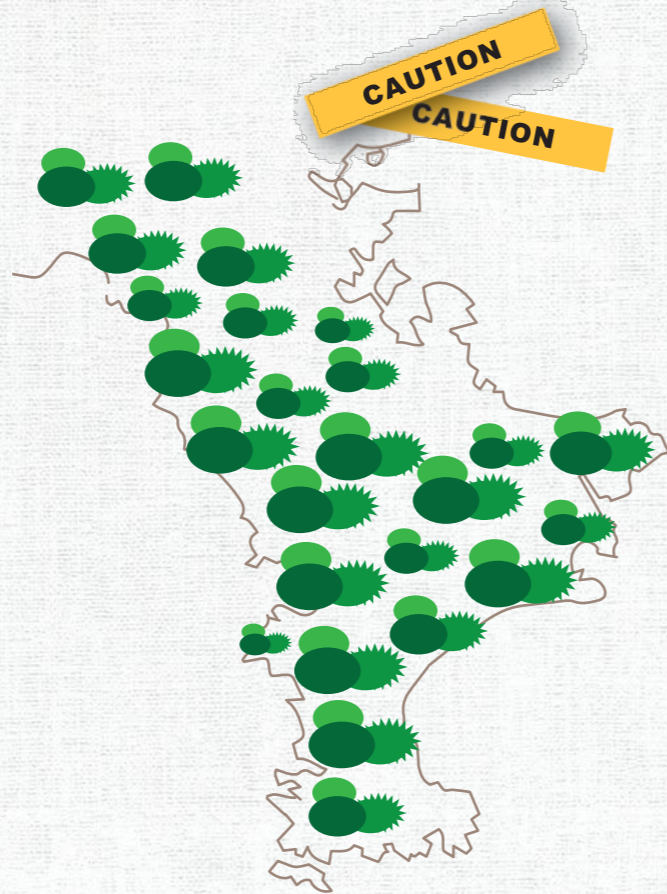


オランダガラシ

三浦半島での分布傾向

主に観賞用の水草等で販売されていたものです。持ち主が栽培をやめるときに、川や池に投棄したものが定着しました。ちぎれた茎等から容易に増殖するため、増水時に流出したものが用水路や水田にも侵入しています。また、オオカワヂシャやオランダガラシは、農作業等に伴って泥と一緒に埋土種子が運ばれることも多くあります。

オランダガラシは早い時期に侵入したため、既に全域にわたって定着しています。近年持ち込まれたウチワゼニクサやアマゾンチカガミ等は、観音崎公園や関根川遊歩道等ごく限られた水域で確認されていますので、さらに分散させないよう注意が必要です。



影響

水面の上下 30cm 程度の水際環境を覆い尽くし純群落となってしまうため、水中に光や酸素が届かなくなります。セリやシャジクモなど由来の水生植物が生育していた場所が無くなります。由来の水生植物に依存してきた昆虫等は、生息環境が失われることとなります。

また、生育が旺盛で次々に新しい茎を伸ばしていくため、古い植物体は低層に厚く

堆積して枯れ、水質の富栄養化が進みます。腐食が水底に厚く堆積すると、埋土種子から発生する沈水植物等は発芽することができません。

エコトーンのデリケートな環境に強力なコロニー（純群落）を形成するため、積極的な駆除が必要です。ただし、水生植物を利用する生物のために駆除と同時に代替となる在来水生植物の確保が必要になります。

駆除の方法

ちぎれた茎や種子からの発生が強く、群落を形成してしまった水辺から完全に根絶することはほぼ不可能です。しかしながら、これらの純群落は水辺生態系にとって非常に悪影響が大きいため、地上部をなるべく全て抜き取り、低密度な状態を維持することが必要です。鎌等は使わず、手や熊手等を使ってなるべくちぎらずに抜き取ってください。また、抜き取ったものは野積みしたりチップ化して撒いたりせず、可燃ゴミとしてください。

水中での駆除作業は非常に重労働で、泥と一緒に掘り上げた植物はとて重量があります。市民団体や専門業者の協力が得られると、よいでしょう。

これまで生育していなかった場所に新たに発見された場合は、増殖前に抜き取ってください。

もし、駆除対象の外来植物以外に水生植物が生育していない環境で、埋土種子からの復元も見込めないのであれば、水生昆虫のために在来の水生植物を導入することを検討すると良いでしょう。

注意 可燃ゴミへ。

小さな茎の破片からでも再生するので、野積みしたり、粉碎して蒔いたりしてはいけません。



オオフサモが水面を覆った池



抜き取り後 開放水面が現れました

ごく小規模な池でもこれだけ抜き取れます。数日天日干しして軽くしてから処分を。

